

セットアップガイド [接続編]

1 本製品の特長

- 2U12ベイラックマウント型のNAS
- WindowsStorageServer2012R2Standard搭載

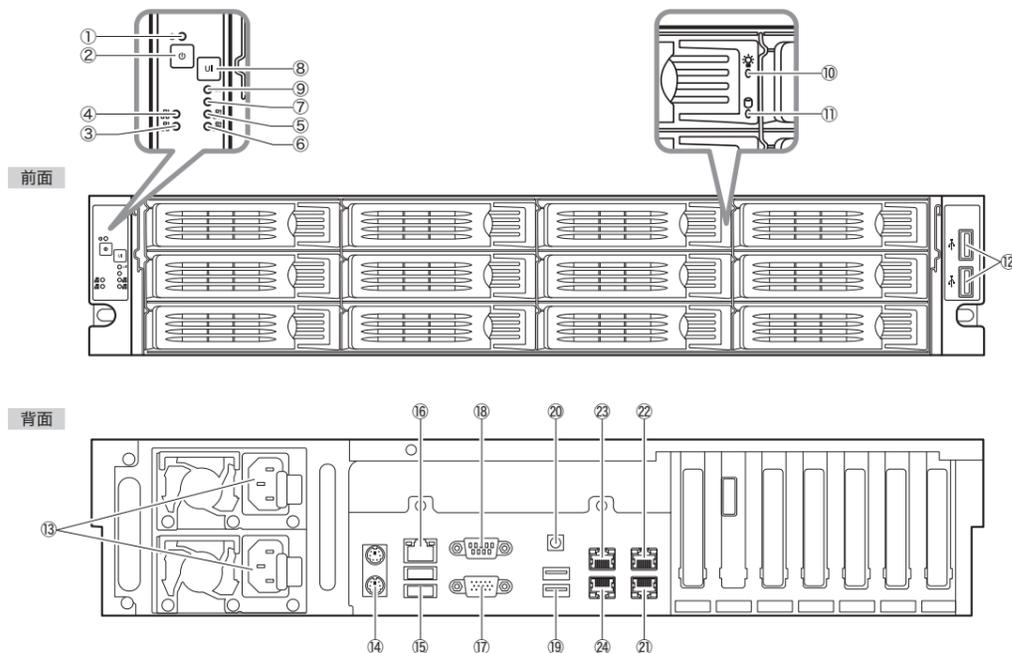
2 パッケージの内容を確認する

□ 製品本体 下記モデルのいずれか1台

- NSB-96S18T12RWS (2TB HDDx9, 60GB SSDx3)
- NSB-96S27T12RWS (3TB HDDx9, 60GB SSDx3)
- NSB-96S24T12RW (2TB HDDx12)
- NSB-96S36T12RW (3TB HDDx12)
- NSB-96S48T12RW (4TB HDDx12)

- ACケーブル 2本
- LANケーブル(CAT5E:1.5m) 1本
- 設定用CD-ROM 1枚
- ご使用前にお読みください 1枚
- セットアップガイド [接続編] (本シート) 1枚
- ラック取り付け用レール 1セット

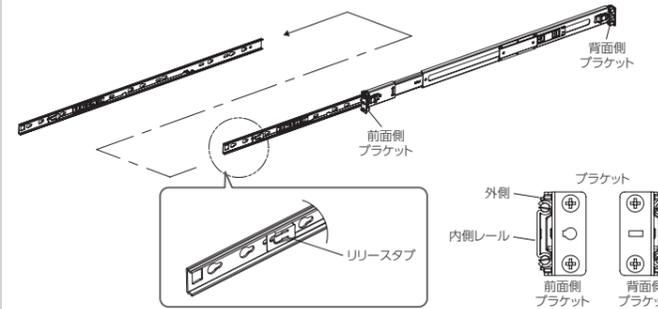
3 各部の名称とはたらき



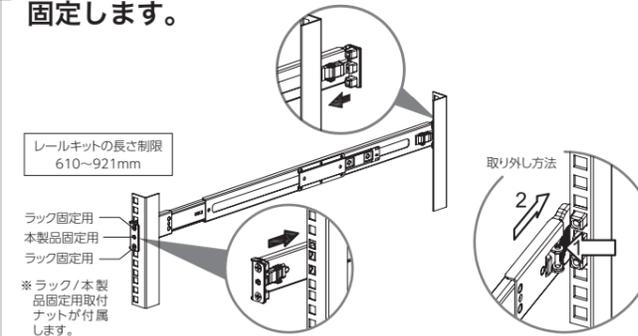
① 電源ランプ	緑点灯:稼働中 橙点灯:システムスタンバイ	⑫ USB2.0 ポート	HDDやUPSを接続できます。メンテナンス時はマウス、キーボードを接続します。
② 電源ボタン	電源をONにするときは、電源ボタンを1回押します。電源ONの状態でも電源ボタンを押すとOFFになります。	⑬ 電源ユニット	付属のACケーブルを接続します。電源ケーブルは2本接続してください。
③ LAN 1ランプ:		⑭ PS/2 ポート	使用しません。
④ LAN 2ランプ:	緑点灯:イーサネットのリンクが確立しています。	⑮ USB2.0 ポート	HDDやUPSを接続できます。メンテナンス時はマウス、キーボードを接続します。
⑤ LAN 3ランプ:	緑点滅:データ転送中です。	⑯ BMC ポート	使用しません。
⑥ LAN 4ランプ:		⑰ VGA ポート	メンテナンス用の端子です。メンテナンス以外で本製品にモニターを接続しないでください。
⑦ エラーランプ	赤点灯:エラーが発生しています。	⑱ シリアルポート	使用しません。
⑧ UID ボタン	ボタンを押すと、前面のUIDランプと背面のUIDボタンが青色に点灯します。ラック取り付け後に本製品を確認する際にご利用ください。	⑲ USB3.0 ポート	HDDを接続できます。
⑨ UID ランプ	前面または背面のUIDボタンを押すと青色点灯します。	⑳ UID ボタン	ボタンを押すと、前面のUIDランプと本ボタンが青色に点灯します。
⑩ HDDステータスランプ	青点灯:正常に動作中です。 青点滅:HDD認識中です。	㉑ LAN ポート1	付属のLANケーブルを接続します。
⑪ HDDアクセスランプ	緑点滅:データ転送中です。 赤点灯:HDDにエラーが発生しています。	㉒ LAN ポート2	
		㉓ LAN ポート3	2本以上のLANケーブルで接続する際に使用します。
		㉔ LAN ポート4	

4 本製品を接続する

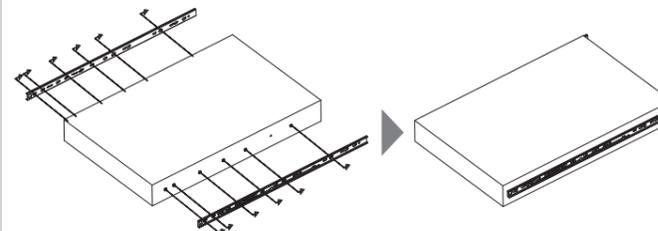
1 ラック取り付け用キットの内側のレールをリリースタブを引きながら取り外します(左右両方)。



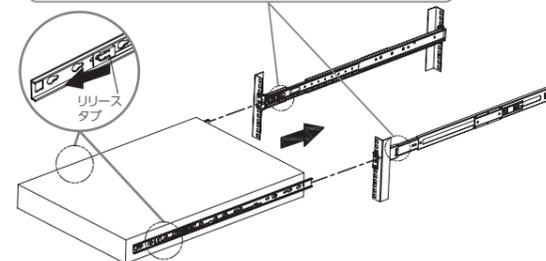
2 ラック取付用金具を前後のマウントアングルに固定します。



3 1で取り外した内側のレールを本製品の側面に固定します



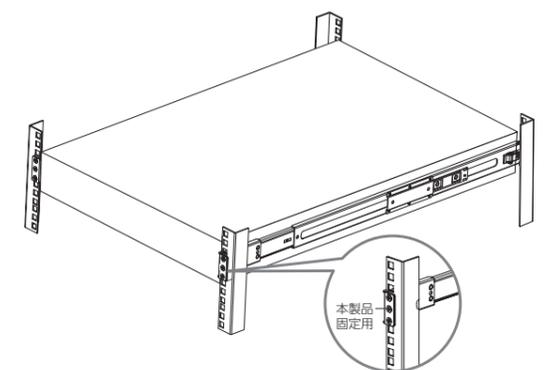
4 本製品本体を水平に保ちながら、ラック取付用金具に内側のレールを合わせて本製品の奥行き半分まで差し込みます。



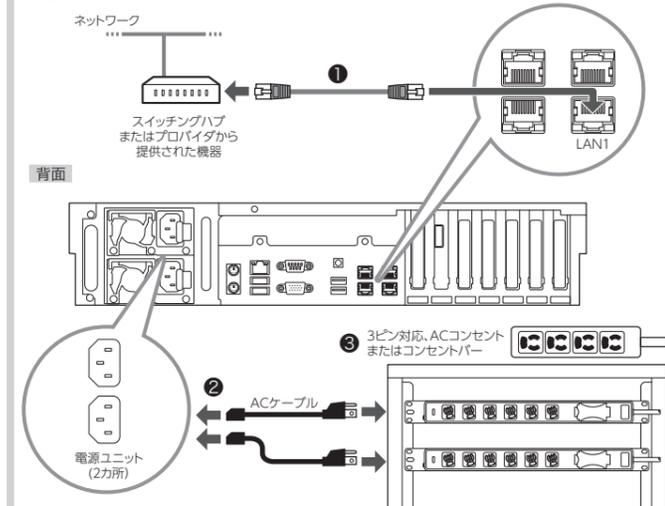
注意

安全面を考慮し、本製品ラック取り付けの際は、必ず3人以上で作業を行ってください。本製品をラックに差し込む際に、ラックに取付けたラック取付用金具のスライドレール部分と固定部分が離れていないことを確認してください。離れている場合、本製品が上手く差し込めず、レールが曲がってしまう可能性があります。

5 左右のリリースタブを押しながら、本製品本体をラックに奥まで押し込み、固定します。



6 イラストを参考に、以下の手順で本製品を接続します。



- ①本製品をご使用になるネットワークに本製品をLANケーブルで接続します。
- ②付属のACケーブルを本製品の電源ユニットに差し込みます。
- ③付属のACケーブルをACコンセントに差し込みます。

注意

電源冗長化にあたりそれぞれのACケーブルは別系統のコンセントに挿してください。

7 電源ボタンを押します。

電源ランプが点灯し、HDDランプが点滅します。



注意

電源を切るには電源ボタンを押してください。

注意

必ず本製品を電源ボタンを押してオフにしてください。電源タップのスイッチを切るなど、本製品の電源ボタンを押さずに電源をオフにすると、データ消失したり、HDDを破損する恐れがあります。

5 管理画面のログインと設定用ツール

本製品はリモートデスクトップを使用して管理画面を開くことができます。

●管理画面のログイン名とパスワードの初期値
ログイン名：admin パスワード：admin

●本製品のIPアドレスが分からない場合

以下の説明をお読みになり、付属のCD-ROMからHost Explorerをインストールしてください。

Host Explorerを起動すると、NSBシリーズが検索され該当のNSBシリーズとIPアドレスが表示されます。表示されない場合は、「再スキャン」ボタンをクリックして再検索を行ってください。

Windows版設定用ツールのインストール方法

1 本製品を管理するPCに本製品に付属のCD-ROMをセットします。

・「autorun.exeの実行」をクリックします。

2 ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、[はい] をクリックします。

3 画面の内容に従ってインストール作業を進めます。

4 これでHost Explorerのインストールは完了です。

・デスクトップにショートカットアイコンが登録されます。



5 ショートカットアイコンをダブルクリックします。

6 リストに表示された本製品を選択し、[設定] をクリックします。



7 リモートデスクトップの接続画面が開きます。

初期値 ログイン名：admin
パスワード：admin

Mac版設定用ツールのインストール方法

1 「http://www.microsoft.com/ja-jp/download/」から「Remote Desktop Connection Client for Mac 2」をダウンロードして、インストールしてください。本製品を管理するMacに本製品に付属のCD-ROMをセットし、内容を表示します。

2 フォルダの内容を表示し、「Host Explorer.dmg」をダブルクリックします。



3 「Host Explorer.app」をアプリケーションフォルダにドラッグしてください。

4 アプリケーションフォルダにコピーした「Host Explorer.app」をダブルクリックします。



5 リストに表示された本製品を選択し、[設定] をクリックします。



6 リモートデスクトップの接続画面が開きます。

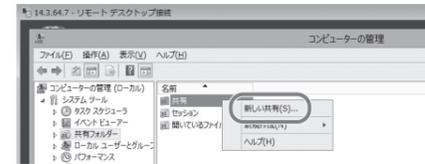
初期値 ログイン名：admin
パスワード：admin

6 共有フォルダーの作成方法

1 Windows Storage Serverのスタート画面で[管理ツール]をクリックし、[コンピューターの管理]をダブルクリックします。

2 [共有フォルダー]をクリックします。

3 [共有]を右クリックし、表示されたメニューから[新しい共有]をクリックします。



4 [次へ] をクリックします。

5 既存のフォルダーのパスまたは新しく作成するフォルダーのパスを入力し、[次へ]をクリックします。



初期設定で共有フォルダーを作成するときは、フォルダーパスに「D:\Share」と入力します。「指定したパスが見つかりません。作成しますか?」と表示されたときは、[はい] をクリックします。

6 共有名と説明を入力し、[次へ]をクリックします。



7 [アクセス許可をカスタマイズする]を選択し、[カスタマイズ]をクリックします。

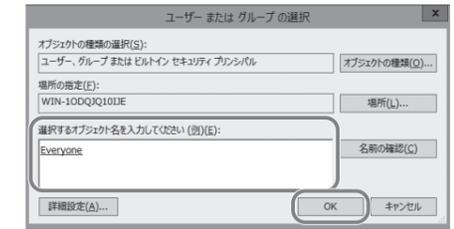
8 [Everyone]を選択し、[変更(許可)]をチェックします。



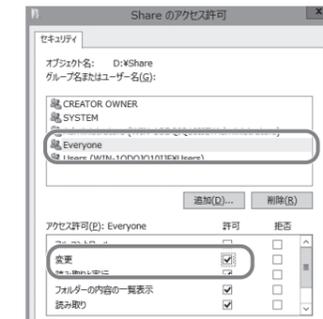
9 [セキュリティ]タブ内の[編集]-[追加]をクリックします。



10 [選択するオブジェクト名を入力してください]に「Everyone」と入力し、[OK]をクリックします。



11 [Everyone]を選択し、[変更(許可)]をチェックします。



12 [OK] - [OK] - [完了] - [完了] をクリックします。

13 [コンピューターの管理]内の[ローカルユーザーとグループ]をクリックします。

14 [ユーザー]-[Guest]をダブルクリックし、Guestのプロパティを表示します。

15 [全般]タブ内の[アカウントを無効にする]のチェックをはずし、[OK]をクリックします。

次の手順でゲストアカウントを有効にします。

次の手順でゲストアカウントを有効にします。
(1)Windows Storage Serverのスタート画面で[管理ツール]をクリックし、[コンピューターの管理]をダブルクリックします。
(2)[ローカルユーザーとグループ]をクリックします。
(3)[ユーザー]-[Guest]をダブルクリックし、Guestのプロパティを表示します。
(4)[全般]タブ内の[アカウントを無効にする]のチェックをはずし、[OK]をクリックします。共有フォルダーにアクセスできるようにするには、次の手順で共有フォルダーのアクセス許可を設定します。
(5)Windows Storage Serverのスタート画面で[管理ツール]をクリックし、[コンピューターの管理]をダブルクリックします。
(6)[共有フォルダー]をクリックします。
(7)[共有] - 設定を変更する共有フォルダーをダブルクリックし、共有フォルダーのプロパティを表示します。
(8)[セキュリティ]タブ内の[編集]をクリックします。
(9)[グループ名またはユーザー名] - 一覧からアクセス許可を設定したいユーザーまたはグループを追加します。グループやユーザーはあらかじめ作成しておく必要があります。すべてのユーザーからアクセスを許可する場合はGuestを追加し、Guestの[アクセス許可]をフルコントロールに変更します。

PDF版ユーザーズマニュアルについて

本製品の設定ユーティリティの使用方法など、本製品のより詳細な情報は、エレコム・ホームページからPDF版ユーザーズマニュアルをダウンロードしてご使用ください。

<http://www.elecom.co.jp/support/manual/index.html>